

2021年7月

2021年度 四万十町地域イノベーター養成講座 第1回 ビジュアルレポート

高知大学 地域協働学部
コミュニティデザイン研究室

実施概要

- 日 時：令和3年7月31日（土） 13時00分～17時30分
- 会 場：四万十町窪川四万十会館
- 主 催：四万十町・高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室
- 実施内容：「地域のために何かしたい」「起業をしてみたいけど、まだ勇気がない」「何をして良いのかわからない」そういった方々を対象に全6回の地域イノベーター養成講座を開催。
一人ひとりが自分事として、地域課題解決や活性化を目指す「チャレンジする人材」の学びの場。

【タイムライン】

Time	Theme	Contents
13:00-13:10	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none">・ 地域イノベーター養成講座の概要説明・ 本講座でのイノベーターについて
13:10-13:25	チェックイン	<ul style="list-style-type: none">・ 自己紹介（所属・今の気持ち・意気込み）
13:25-13:40	講座の進め方	
13:40-14:40	関係形成ワーク（レゴ®シリアスプレイ®）	<ul style="list-style-type: none">・ レゴ®シリアスプレイ®を活用した関係形成
14:40-15:40	キーノートスピーチ	<ul style="list-style-type: none">・ 大久保伸隆氏（株式会社ミナデザイン 代表取締役）
15:40-17:20	マイプロジェクトワーク	<ul style="list-style-type: none">・ マイプロジェクト（me編）の発表・質疑応答
17:20-17:30	チェックアウト	<ul style="list-style-type: none">・ 次回までのスケジュール・課題確認

(参考：フライヤー)

令和3年度
第5期生募集

回覧

地域イノベーター 養成講座

四万十町では、何か新しいことを始めてみたい、
地域のために何かしてみたい、という方などを対象に
地域イノベーター養成講座(全6回の連続講座)を
開講しています。アイデア実現のための仲間づくりと学びの場を
提供するだけでなく、やりたいことがまだない方やいろいろな
学びを得たい方にもおすすめです。お子様連れの方でも参加いただけます。
年齢や所属は問いませんので、お気軽にご応募ください。

主催：四万十町
協办：高知大学地域協働学部
コミュニティデザイン研究室

スケジュール・内容 ※いずれも13:00-18:00で開講いたします

7/31(土)

自分の想いと価値観を
掘り起こす

大久保 伸隆 氏
(株式会社ナリノリ 代表取締役)

1993年生まれ。千葉県出身。大学卒業後、不動産会社を経て、2007年エービーカンパニー入社。店長などの経験から事業部長を経て、2012年取締役営業本部長に就任。東証マザーズ上場。東証一部への市場変更を経験し、2014年に副社長に就任。アルバイトをやるにあたって独自の取り組みは「3つの習慣」などを紹介される。2018年6月に退社。同年7月にシェアリングを設立し、代表取締役社長に就任。現在は「食育啓蒙」「食育地産産直」(東京・港区新橋)、「Eat Utsunomiya」(千葉・佐倉ニューカマー街)などを経営。独自の経営モデルは「ライブの夜明け」に紹介される。飲食店の経営を通じて、まちづくりのプロセスに携わります。著書に「ライブを大事にする飲食店は必ず繁盛する」(2018年)。

8/21(土)

自分ゴトで取り組める
問題を見つける

丑田 俊輔 氏
(ババタ株式会社 代表取締役)

公共施設をまちづくり拠点として再生する「まちどプラット」(まちどプラットフォーム)を創発。2010年にババタの創業。国内外を舞台にした様々な教育事業を展開。2014年、秋田県五城目町に移住。10年、秋田県五城目町に「ドチャペン」を創業を機会に地域を繋ぐ「シェアビレッジ」、週休無給を推進する「ただのまが橋」、住居参加型小学校建設「建てる学校」支援等を推進。2021年、共創型コミュニティプラットフォーム「Share Village」を公開。

10/2(土)

自分と組んだ
プロジェクトを描く

岸川 政之 氏
(一般社団法人 未来の人口ビジョンプロジェクト 代表理事)

1957年8月15日生まれ。大学卒業後、1982年多摩町入庁。税務課、教育委員会、総務課、企画課、農林部工課を経て、2011年4月「まちの宝創造特命監」に就任。高校生レストラン「まごの店」やその発展が運営する惣菜とお弁当の店(特)相可フーズ「せんばい」の店「まご」など、コミュニティビジネスの手法を取り入れた地域づくりに取り組む。これらの取り組みは、国土交通省「まごまご」や農水省、経済産業省など多くの業を支援し、2011年5月からは高校生レストラン「まご」をテレビドラマでもちめ話題を呼んでいる。

11/6(土)

未来の姿を
想像する

小笠原 舞 氏
(株式会社地産/消費社 代表取締役)

大学では福祉を学び、社会人経験を経て、保育士となる。こどもたちから夢を聞くことが、「Well-being」(福祉がひとびとを生かす社会)につながると思い立ち、2012年子育てコミュニティを築き、2015年に仲間たちで作って事業をスタートしている。2017年に「共同会社」ともいえる「探求社」を設立。2020年には、自主事業「おこ保育園」をオンライン化し、全国の親子を対象に新しい子育て支援の形を作っている。著書「いい親より大切なこと〜こどものために」は「しなやかに育つ」のテーマ。2017年には、神戸市長田区の下町情緒と多様性あるふるさとをつなぐのがテーマで、夫と子ども(3歳)と家族の暮らしを伝えている。

12/4(土)

小さな一歩を
踏み出してみる

寺井 彩 氏
(株式会社イグジティブ・プラットフォーム)

大学で文化人類学、紛争解決について学んだ後、英大大学院にて国際関係学修士を取得。映像を使った社会貢献・エンパワメント・啓蒙手法を学ぶ。2017年より、エンターテインメントとしての質の高い社会的な意義の両面を併せ持つ映像を手掛ける制作会社に入社。広告・ドキュメンタリー・ショートフィルムなど、様々な映像制作に携わる。現在、課題当事者とともに映像をつくる共創型プログラムを開発中。誰かの「美しい瞬間」を発見とらえるのが好きです。

1/22(土)

学んだことや
取り組みを発表

小澤 いぶき 氏
(NPO法人 P.E.C.S代表)

精神科医を経て、児童精神科医として複数の病院で勤務。トラウマケア、虐待被害、発達障害支援を専門として臨床に携わり、多岐の自治体のプロジェクトを推進。さいたま市の子育て支援センター「まごの店」を上げ、プログラム開発に参画。2016年、米石川のFish Family Foundationのプログラムの4名に推薦されリーダーシップ研修を修了。2017年3月、世界各国のリーダーが集まるザルツブルグカンファレンスに招待。子どものウェルビーイング推進に向けたザルツブルグプラットフォーム作成に参画。

受講生の声

井口 佐奈恵さん(3期)

先週のワークショップを聞いてみたいという私の長年の夢でした。この講座は自分自身の課題を学ぶ機会です。それにも満足だけでなく、学びを通じて自分の成長を促すことができると感じています。自分の課題を解決し、成長を促すことができると感じています。自分の課題を解決し、成長を促すことができると感じています。

西村 咲希さん(4期)

私が何故か自分自身でやりたいこと、何かと悩んでいて、この講座を受講しました。最初は「地域」を軸に考えていたのですが、受講するうちに、「自分」を軸にやりたいことを見つけることが出来ました。今までにない学びを得ることが出来たと思います。自分の課題を解決し、成長を促すことができると感じています。

川口 加代子さん(1期)

今、四万十町で生活できて良かった。と心から思えるのは、この講座のおかげです。7年前、母の介護のために辞めた職の再入社は出来ませんでした。年齢も高くなったこともあり、子育ても忙しかったこともあり、なかなか再就職ができませんでした。この講座を通じて、自分の課題を解決し、成長を促すことができると感じています。

岩垂 桂也さん(1期)

入塾して成長を促したい人は特にオススメです！自分の強みを活かすことで、自分の課題を解決し、成長を促すことができると感じています。

講座の流れ

対話

講座

自分のこれまでの人生を振り返りながら、疑問や、やりたいこと、関心など本音の自分を語り合います。

実践

チャレンジ

自分と組んだプロジェクトを、調べたり、話を聞いたり、できることから小さくアクションしていきます。

伴走

オンラインメンタリング

アクションを通して感じたことを仲間や学生メンターと対話しながら、振り返ります。

最終報告

講座のたびにくりかえし実施して進めていきます

- 募集人員 10名程度を予定
- 受講料 ① 町内に住所がある方…5,000円 ② 町外に住所がある方…10,000円
- 講師 高知大学 地域協働学部 須藤 順 先生
- 応募資格 右下のQRコードの応募フォームからご応募していただくか、エントリーシートに必要事項を記入して、下記のいずれかの方法でご応募ください。
- ① 持参する場合、人材育成推進センター、もしくは各地域振興局に7月26日(月)までに提出してください。
- ② 郵送、メール、もしくはFAXで人材育成推進センターまでお送りください。なお、エントリーシートは、四万十町ホームページからもダウンロードできます。
- 受講資格 四万十町で活動する意思のある方、並びに、四万十町の資源を活用して活動する意思のある方、原則として、全講座に参加できる方を対象としています。
- 受講料納付方法 受講料は、第1回目の講座の時にご持参ください。
- その他 講座内容や開催場所(四万十町内)等の詳細については、受講生の方に通知いたします。

(注意)

各回の間に、具体的なアクション(調査など)を行っていただくことに加え、事務局および運営チームとの相談会を適宜開催し、プロジェクトの実現に向けたサポートを行います。

事務局

四万十町役場 人材育成推進センター
(担当: 横山 光一・吉村 愛)

〒786-8501
高知県高岡郡四万十町禅山3番7号

E-mail 1030606@townshimanto.jp
TEL 0980-22-3163
FAX 0980-22-3345

申し込み
フォーム

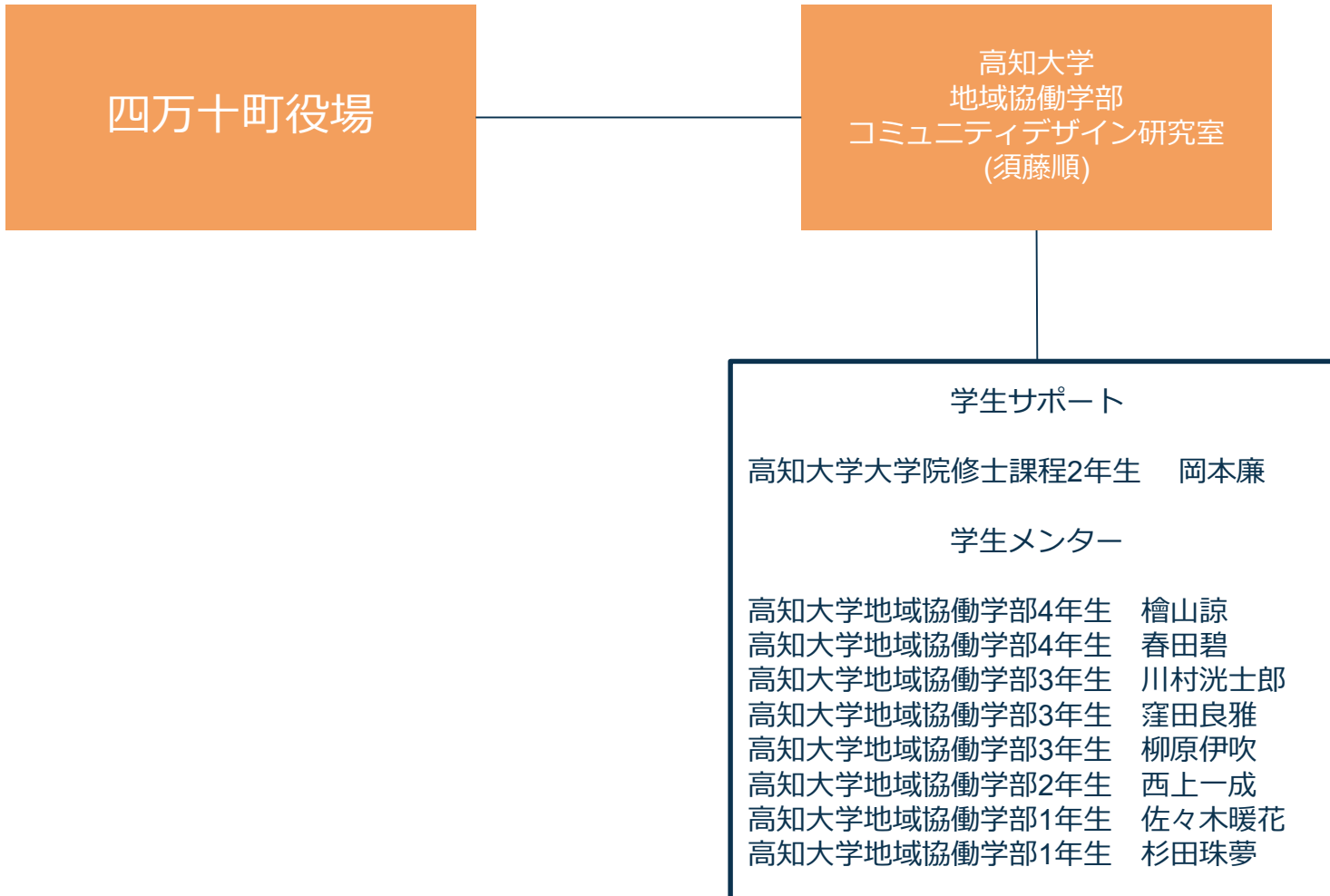
キリトリ

令和3年度 地域イノベーター養成講座エントリーシート

氏名	フリガナ		
職業	電話	メールアドレス	
年齢	性別	住所	
あなたが申請点で思い描いているプロジェクトや、四万十町でやっていたいことがあればご記入ください。			

Copyright © 2021 Jun SUTO All Rights Reserved.

実施体制



**1人ひとりが自分事として、
地域課題解決や活性化を目指す
「チャレンジする人材」の学びの場**

目指すべきゴール

1

一人ひとりが自分の経験の中から、自分自身のミッション（使命）を見つけ出す

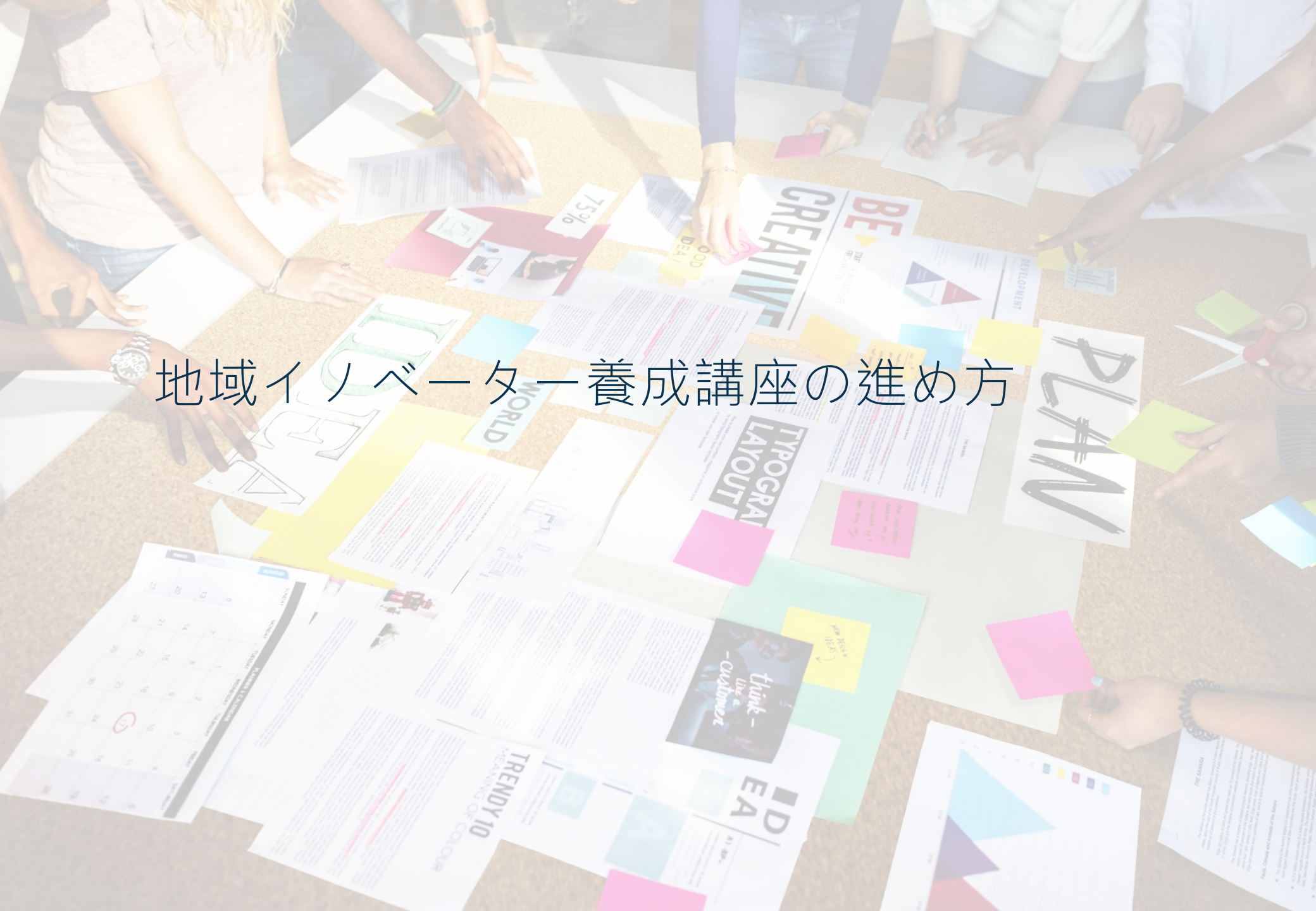
2

“ジブンゴト”で取り組むことができるプロジェクトを自分自身で生み出す

3

ジブンゴトのプロジェクト（マイプロジェクト）に取り組む仲間同士がともに切磋琢磨しながらも支え合う関係を創る

地域イノベーター養成講座の進め方



進め方（概略）



本当の自分を語り合う

自分のこれまでの人生を振り返りながら、好きなものや関心があること、疑問に思っていること、やってみたいことを語り合う。

アクションしてみる

自分と紐づいたプロジェクトを小さくやってみる。先輩を訪ねたり、調べてみたり、誰かに話してみたり、自分ができることに取り組んでみる。

振り返る

アクションしてみて気づいたこと、感じたこと、思ったことを仲間やメンターと対話をしながら振り返り、自分の本当の気持ちに向き合う。

2つのシートを使って対話とアクションを繰り返していきます！

マイプロ Me編	名前 (ニックネーム、読んでほしい名前、その由来)	作成日: 場所:
似顔絵・写真	みんなが知らない自己紹介	
自分ストーリー 昔 (~小学校)	人生グラフ: 横軸は年で、縦軸はイキイキ度(幸せ度)。人生で輝いていた時、沈んでいた時を見る化しよう!	
(~中学・高校)		
(~専門・大学)		
(~現在)	みんなが知らない自慢・一発芸・得意技	
今		

マイプロジェクトの源泉へ

← me編シート

- ・自分のライフストーリーや好きだったこと、楽しかったこと、つらかったことなど
- ・自分の人生をグラフにしてみる
- ・普段見せない自己紹介

PROJECT編

わたしのプロジェクト(マイプロジェクト)を一言で!

- 実践したいプロジェクトの概要

project編シート→

- ・自分と紐づいたプロジェクトを書き出す
- ・それは誰にどんな価値を生み出すのか

■ 「やってみたい!」と思った、理由や背景、原体験

■ 「誰」にどんな価値を生み出しますか?



マイプロジェクトとは、
自分に基づいた (My)

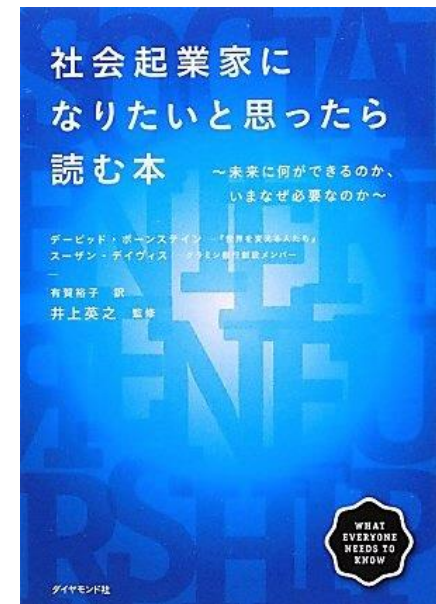
「何かを、プロジェクトの形にして (Project) やってみる」
ことから始まる、
自分や世の中の変化の物語

マイプロジェクトのはじまり

- マイプロジェクト（略称“マイプロ”）は、2005年頃、慶応SFCの井上英之ゼミ（当時）により始まった教育手法で、「時代や社会のせいによらず、未来の社会は自分（達）の一步から変えられる」「ひとり、の力は以外と大きい。すべての人は、誰かを“代表”している」という実体験を全ての人に持ってもらうことを目的に開発された。
- その後、ソーシャルイノベーション創出や起業家育成、チームビルディング、組織開発、リーダーシップ開発、まちづくり、地域活性化、被災地支援、教育現場やキャリア教育など、様々な領域でその有効性が理解され、広がりを見せている。

【マイプロについての記事等】

- 中小機構 TIP*S マイプロ道場webサイト
<http://tips.smrj.go.jp/myproject/>
- マイプロ for entrepreneurship education webサイト
<http://my-pro.me/>
- 学生ソーシャル・アクションプロジェクトwebサイト
<http://www.etic.or.jp/mypro/about>
- 全国高校生マイプロジェクトアワードwebサイト
<https://myprojects.jp/>



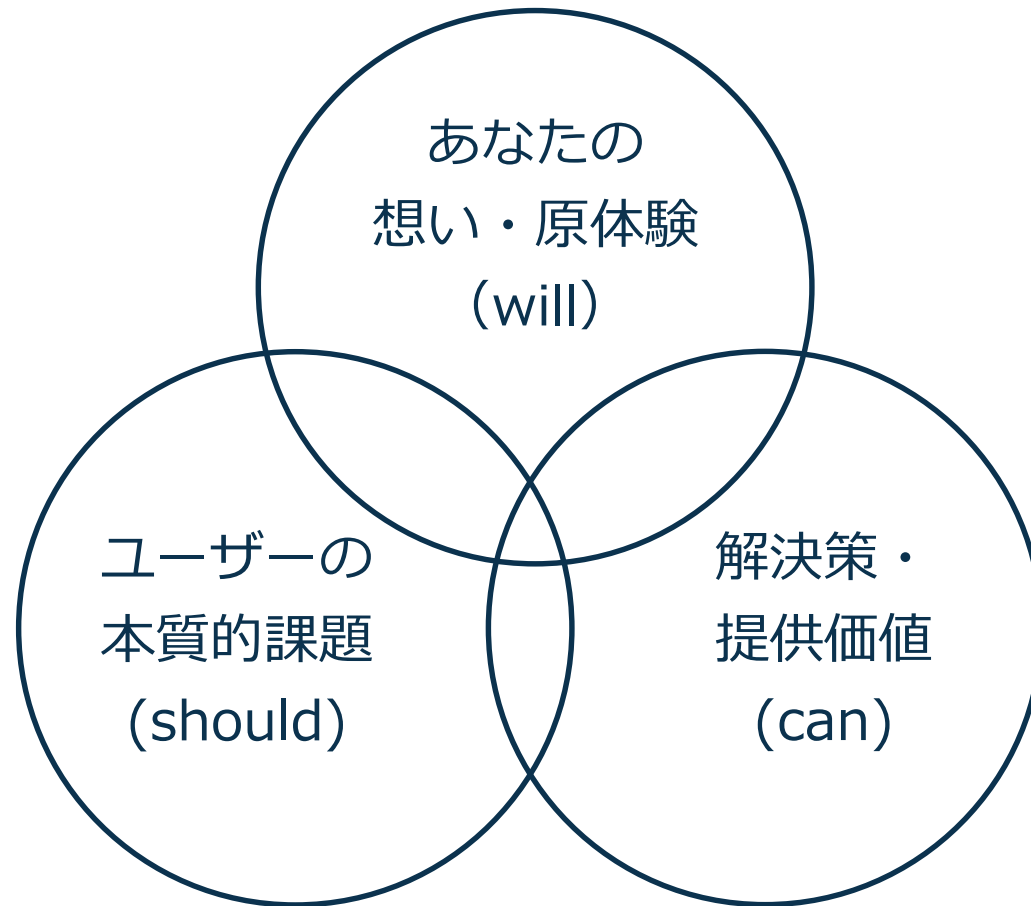
マイプロジェクトとは？

自分に基づいた（M y）

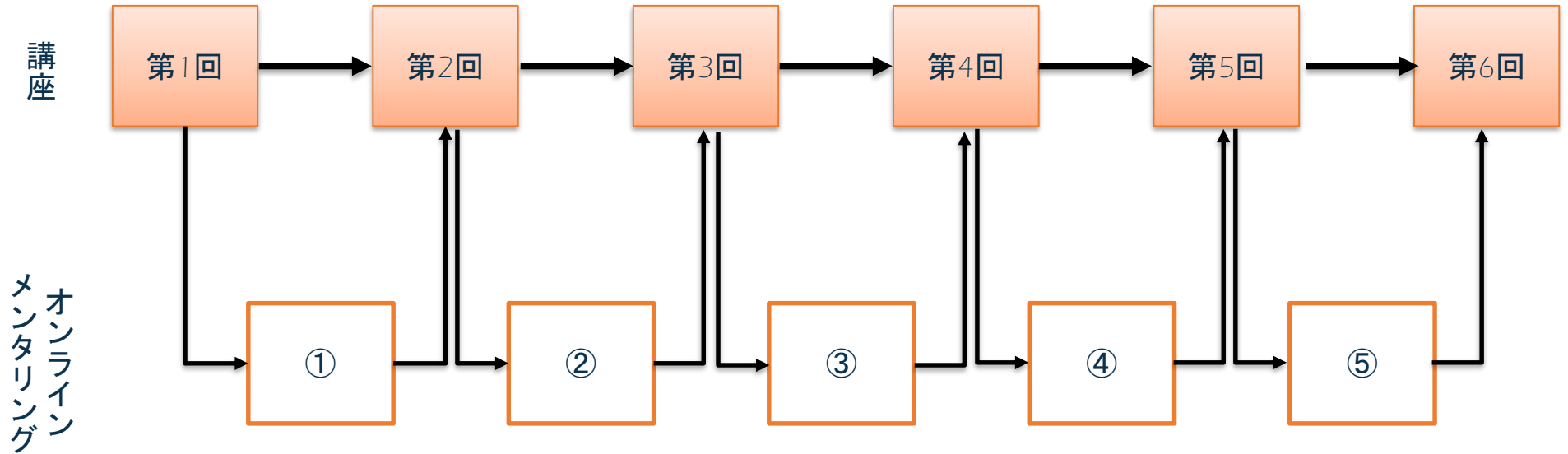
「何かを、プロジェクトの形にして（pjt）やってみる」
ことから始まる、自分や世の中の変化の物語

自らの経験の中から、
自分のミッションを生み出していく

ポイント：徹底して自分のwillに向き合う



進め方(詳細)



オンライン
コミュニティ

オンライン上に受講生・事務局・学生メンター・講師・ゲスト陣が参加する非公開グループを作り、日々のアクションや気づきを報告&相互にメッセージをやり取り

本講座のゴール



The image features a brown, textured background with a horizontal tear. The tear reveals a white rectangular area on the left and a brown, textured area on the right. The text 'find your passion!' is printed in bold black font on the white area.

find your passion!



LEARNING BY DOING



BE YOURSELF!

- 1** 自分が情熱を傾けられるモノ・コトを自分の経験の中から見つけ出す
- 2** 「アクションしながら学びを得る」ことを意識し、徹底して、行動と対話を繰り返す
- 3** 自分らしいと思えるプロジェクトを描き、自然体で向き合える仲間づくりを行う

場のルール

Growth

Vision

Resea

Business

Success

Marketing

Sup

Cre

場のルール

- 1 安心・安全の場をみんなで創ろう
- 2 ありのままの自分を素直に出そう
- 3 仲間・プロジェクトを評価しない
- 4 プロジェクトは変わってOK
- 5 お互いに貢献し合う

講座の様子



オリエンテーション・チェックイン

はじめに、四万十町役場の横山氏から本講座の趣旨について挨拶があった。続いて、高知大学須藤より講座概要についてのオリエンテーションを行ったうえで、全体でチェックインを行った。初対面の人が多い事もあり、皆緊張した面持ちでスタートしたが、チェックインが終わる頃には笑い声上がるなど、緊張が解けた雰囲気を感じられた。



挨拶



説明を聞く受講生



講座概要についてのオリエンテーション



チェックインの様子



メモを取りながら聞く様子



チェックインの様子

レゴ®シリアスプレイ®ワーク

レゴ®ブロックに慣れるための簡単なワークを行ったあと、レゴ®シリアスプレイ®ワークを実施した。

最初のワークは、決められた作品を選び、その作品を作成したのち、自分の性格について一人ひとりが共有を行った。初めてのワークということもあり、試行錯誤しながら進んだ。

次のワークは、「自分がワクワクするもの」をテーマに作品を自由に作成した。作成後、グループ内で一人ひとり、何を表現したのかについて語り、メンバー間で対話を行いながら、相互理解を深めていった。



作品をメンバーに紹介する様子



作品の例



作品について対話を行う様子



指で示しながら説明する様子



質問をしている様子



動かしながら説明する様子

キーノートスピーチ

キーノートスピーチでは、大久保伸隆氏より「自分の想いと価値観を掘り起こす」についての講義が行われた。

大久保伸隆（株式会社ミナデザイン 代表取締役）

1983年生まれ。千葉県出身。大学卒業後、不動産会社を経て、2007年イー・ピーカンパニー入社。店長などの現場から事業部長などを経て、2012年取締役営業本部長に就任、東証マザーズ上場、東証一部への市場変更を経験し、2014年に副社長就任。アルバイトをやる気にさせる独自の取り組みは「カンプリア宮殿」などに紹介される。2018年6月に退社。同年7月にミナデザインを設立し、代表取締役に就任。現在は『烏森百葉』『烏森絶メシ食堂』（東京・港区新橋）、『里山transit』（千葉・佐倉市ユウカリが丘）などを経営。独自の経営モデルは「ガイアの夜明け」に紹介される。飲食店の経営を通じて、まちづくりのプロデュースに乗り出す。著書に『バイトを大事にする飲食店は必ず繁盛する』（幻冬舎）

◆ 400円を喜びに変えるために

これまでは販売促進というと、割引券を配布するなど店外で行うことが一般的であったが、それらがお客様の喜びにつながっていないことに気づいた大久保氏は、割引券分のサービスをアルバイト店員に任せ、店内での販売促進を編み出した。はじめは乗り気でない店員も多かったが、サービス方法のアイデアを「ジャブ」と名付け、遊ぶように考えられるよう工夫をしたところ、会社の大切にす、CIS(顧客感動満足)=EIS(従業員感動満足)が実現されていった。

◆ お客様のためのポイントカード

大久保氏はCIS(顧客感動満足)=EIS(従業員満足)の実現の一つとして、“昇進システム”の付いたポイントカードを開発した。1回目来店は主任、2回目来店は課長といった、来店回数に応じて昇進していくというシステムを作り、2回目の来店の有無が、今後継続して来店してくれるかの要になるため、2回目ですぐに課長になれるように設定するなど、ポイントカードの仕組みに工夫が施されている。ポイントカードは店員の手書きによって、デコレーションされるため、必然的に店員自身が工夫するようになり、ポイントカードを書いたお客さんが再度来店することで、店員も喜びを感じることができ、従業員満足度にもつながるといった効果が生まれた。

◆ 境界線を曖昧にすること

塚田農場で得た経営スキルを活用しながら、現在の大久保氏は、消費者と経営者の境界線が曖昧になる空間を提供している。お店と酒屋。お客様とお店。従業員と経営者とを嘘くさくなく、曖昧にできるかが大事になると話す。それを大久保氏は「コミュニティデザイン」と定義し、その実践として、お客様が食べたいものをスタッフが書き、一部メニューに取り入れる、黑板商品開発システムを展開している。完璧にしすぎない余白のあるお店になるようにすることで、お客様に自分のお店感を出させる工夫を取り入れた独自の運営を行っている。



講演をする大久保氏



大久保氏の話聞く受講生

マイプロワーク

最後に、須藤からのレクチャーのあと、チームに分かれ分かれてマイプロme編のシェアを行った。受講生にとっては初めてのマイプロのシェアで、戸惑う様子も見られたが、学生メンターのサポートにより、自分の過去の出来事や経験してきたことなどを共有することが出来た。1人が発表を終えた後は、チームメンバーからの質問の時間も取り、より自身の経験を深掘り、メンバー同士の関係形成にもつながっている様子が見えた。



マイプロを共有する様子



話を聞いている様子



和気あいあいとした様子



会場を飛び出してマイプロを共有



質疑応答している様子



相手の話を真剣に聞いている様子

マイプロの進め方

① マイプロシート(me & pjt編)をみんなの前でシェア



② みんなからフィードバック



③ プレゼントカードを書いて渡す



④ アクションを試してみる



⑤ 気づきを踏まえてシートを書き換える



※みんなで支え合いながら、
このサイクルを超高速で回していく

大切にしたいこと

This is
my story

情熱・想い

やりたいこと
(Will)

やれること
(Can)

やるべきこと
(Must)

スキル・経験

役割・期待

問い合わせ先

四万十町役場 人材育成推進センター

担当：横山 光一・吉村 愛

〒786-0008 高知県高岡郡四万十町榊山町3番7号

TEL 088-022-3163 FAX 088-022-3123

E-mail 103060@town.shimanto.lg.jp

高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室(須藤順研究室)

担当：准教授 須藤 順

〒780-8520 高知県高知市曙町2-5-1総合研究棟1階

TEL 088-788-8077 FAX 088-888-8043

E-mail j.suto@kochi-u.ac.jp

Web <http://www.communitydesign-kochi.jp/>

※本講座に関する問い合わせは上記までお願いいたします。

※本資料の無断での配布、外部組織や個人への配布・閲覧、及び二次使用は、固く禁止させていただきます。